

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<p>《試料・情報の利用目的及び利用方法》</p>	<p>●研究の名称 一次医療施設における各診療科の内服抗菌薬処方動向の観察研究</p> <p>●研究の対象 浜松市夜間救急室において、2017年4月～2025年2月までの期間に通常診療を受けた全患者</p> <p>●研究の目的 抗菌薬の使用量が増加した結果、今までは抗菌薬が効きづらい菌、薬剤耐性菌が世界的な問題となっています。抗菌薬が不要な感染症に対しての過剰処方が原因と考えられ、日本の政府は2016年に抗菌薬の不要な使用量を減少することを政策として掲げています。 抗菌薬の処方夜間救急室のような救急現場で多く使用されていることが多く、当施設の処方量を把握することで、今までの政策による効果やコロナ禍での抗菌薬処方量にどのような変化があるかを把握することが可能と考えました。</p> <p>●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から2026年3月まで</p> <p>●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。</p>
<p>《利用し、又は提供する試料・情報の項目》</p>	<p>●研究に使用する試料・情報 情報：受診患者のレセプトデータ（受診者の年齢、性別、診断病名、処方薬剤）</p>
<p>《利用する者の範囲》</p>	<p>●機関名および責任者名 浜松医科大学 小児科学講座 宮入烈</p> <p>●既存試料・情報の提供のみを行う機関</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	浜松市夜間救急室 戸田典子
《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》	浜松医科大学 小児科学講座 宮入烈
《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》	本研究は個人を特定できないようにしたレセプトデータを使用するため、取得した試料又は情報から個人に遡ることはできず、同意の撤回又は拒否があっても対応できません。その他の連絡は、以下《問い合わせ先》にご確認ください。
《資料の入手または閲覧》	本研究は個人を特定できないようにしたレセプトデータを使用するため、取得した試料又は情報から個人に遡ることはできず、同意の撤回又は拒否があっても対応できない
《情報の開示》	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
《問い合わせ先》	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 小児科学講座 担当者： 宮入 烈 TEL： 053-435-2111 E-mail： miyairi@hama-med.ac.jp